

## 新規のたんぱく質、糖鎖腫瘍マーカーの探索

### 1. 研究の対象

2018年2月以降に当院で消化器癌、婦人科癌、肺癌、泌尿器癌、乳癌で治療を受けられた方、及び、人間ドックを受診された方

### 2. 研究目的・方法

特定のたんぱく質や糖鎖が腫瘍マーカーとして癌の診断に広く利用されている。例を挙げると、肝臓癌に対するAFPや大腸癌に対するCEAなどはたんぱく質の腫瘍マーカーである。また、CA19-9は膵臓癌をはじめとする消化器癌で使われている糖鎖腫瘍マーカーである。しかし、癌の診断の精度向上、さらには早期診断にむけて、さらなる腫瘍マーカーの開発が必要である。本研究では、手術サンプル、血清、尿などに存在するたんぱく質や糖鎖を詳細に解析することにより、新規の腫瘍マーカーを探索する。

研究機関：2018年2月～2021年3月

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、画像所見、カルテ番号 等

試料：血液、尿、手術により切除されたがん組織

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先、研究責任者：

大阪国際がんセンター 研究所 分子生物学部門 部長 宮本 泰豪

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

以上